

子育てに関する 行政制度及び NPO 法人サービスについて

第19回 「地方の取り組みⅦ」



妊娠中から妊婦さんの不安なことや心配ごとなどに寄り添う

－ 千葉県浦安市 －

子育てケアプランの作成と子育て支援ギフト

事業内容

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援として、子育てケアマネージャーと保健師と一緒に「子育てケアプラン」を作成・提供。必要に応じて継続支援を行う。

浦安市は、転出入が多く、子育て世代の9割が核家族世帯で、身近な支援者がいない状況にある。市が実施した調査の結果を見ても、就学前の子どもがいる保護者の5割近くが身近な支援者がいない状況にある。そこで、平成11年以降子育て支援事業の充実を図り、平成18年からは「子育て・家庭支援者養成講座」を実施し、支援者の育成にも努めている。

そうした中で、子育て家庭の孤立による問題を早期に把握するため、平成26年10月より、妊娠届出時に1回目の「子育てケアプラン」の作成を行っている。「子育てケアプラン」は子育てマネージャーと保健師が中心となり、妊娠期の過ごし方や子育ての目標、受けられるサポートなどについて、寄り添い考えていく。平成27年4月より出産前後(2回目)とお子さん1歳のお誕生日前後(3回目)の「子育てケアプラン」の作成を開始した。また、市では2回目・3回目の「子育てケアプラン」の際に「子育て支援ギフト」を用意し、お子さんの誕生のお祝いと継続して作成してもらうためのきっかけ作りを行っている。

子育て支援ギフト (対象の方)

1. 妊娠届を提出された方(転入された妊婦の方)
2. 出産予定日 2カ月前(妊娠 32週以降)から出産後の方
 - こんにちは あかちゃんギフト:オリジナルマザーズバック、肌着や靴下などの衣類
 - こんにちは あかちゃんチケット:市内協賛店で利用できる 5,000円相当の金券
3. 生後 10カ月から 1歳 6カ月のお子さんの保護者
 - ファーストアニバーサリーチケット:市内協賛店で利用できる 1万円相当の金券



平成 28年 4月 1日から 29年 3月 31日に生まれたお子さんがいるご家庭にお贈りする「こんにちはあかちゃん」ギフト

診療所(クリニック)と総合病院の協力

－ 和歌山県和歌山市等 －

産科セミオープンシステム

和歌山県内の和歌山市、海南市、紀美野町、有田市、湯浅町、広川町、有田川町では、出産できる施設が減ってきており、例えば有田市において平成25年10月から有田市立病院での分娩ができなくなり、人口約8万人の有田医療圏における分娩施設は一診療所のみとなった。こうした現状に鑑み、7市町がネットワークをつくり分娩を扱っていない診療所(クリニック)と分娩を扱う病院が協力することで、妊婦さんが安心して出産できるシステムが「産科セミオープンシステム」である。

診療所(クリニック)のメリットは、平日の午後や土曜日も診療を行っているため受診しやすく、待ち時間も比較的短いこと。一方、総合病院の特徴は、合併症のある妊婦さんの出産にも対応できる診療設備を整えており、時間外や緊急時の対応も行っているということ。こうしたクリニックと総合病院が連携することで、「妊婦健診は近くの診療所で、お産は総合病院で」と両者の良さを生かした、「産科セミオープンシステム」を構築。助産院も加わり、妊婦さんの母乳相談へ希望などにも対応できるシステムになっている。

産科セミオープンシステム 参加医療機関

- 妊婦健診のみの取扱い施設 17施設
妊婦健診・出産施設 8施設
総合病院 4施設
- ・日本赤十字社和歌山医療センター
 - ・和歌山県立医科大学附属病院
 - ・和歌山ろうさい病院
 - ・国保日高総合病院
- 助産院 2施設

【問合せ先】

和歌山周産期情報センター
(公立大学法人 和歌山県立医科大内)
〒641-8509
和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1
TEL073-441-0823

セミオープンシステムを利用した場合の 妊婦健診の受け方(例)



セミオープンシステムへの質問

- Q: どのような人が対象ですか?
A: 自宅や職場の近くにお産できる施設がない等システムの利用希望者が対象となります。
- Q: セミオープンの場合の母親教室や妊婦指導はどこで受けられますか?
A: 妊婦健診を受けている施設や出産を予定している施設、各市町村の保健センターで受けられます。スケジュール等の詳しい情報は、それぞれの施設にお問い合わせください。

Support for Woman Doctors ～私からあなたへ～

豊田(林田)典子 先生【千葉県 13期】
国保多古中央病院 内科
お子さんは 17 歳、13 歳の二人



春爛漫の多古中央病院と愛車フィット

「足下の四つ葉のクローバー」

医者になって 25 年が過ぎました。

振り返ってみると、私の医師人生は、頭でっかちの優等生だった田舎の高校生があまり深く考えもせず、自治医大というちょっと変わった大学に入ってしまったことから始まりました。学生時代、「地域医療」という名の洗礼を受けつつも、自分の行く先がさっぱり見えず、不安ばかりが膨らんでいました。入学当時、まだ義務年限を終えた先輩方はいなかったのに、9 年間が果てしなく続く幽閉の時間のように感じられたのです。

ところが、卒業してからは、あっという間でした。「女性は要らない」とおっしゃっていたカリスマ院長先生のいる研修病院で(大学 5 年の時、母がこの病院で亡くなりました。「2 年後だったら貴女をぴったりつけてあげられたのに」という院長先生のお言葉にすっかり心を奪われ、飛び込みました。)一生懸命働きました。「これだから女は・・・」と言われてしまうことが怖かったのですが、実際は、行く先々で可愛がってもらい、とても幸せな研修と義務年限を過ごせたと思います。未熟な女医に担当される患者さんは気の毒でもありましたが、実力以上に私を買ってくれたり、人生を語ってくれたり、時には正直に不安を口にしたりで、私を育ててくださいました。その結果、臨床が大好きになりました。

31 歳で遅い結婚をして翌年長男を授かりました。生まれるまで、「きっと誰かが育ててくれる」と甘く考えていましたが、親族も含め、皆自分の役割があり、全面的に子育てを任せられる方は見つかりませんでした。赤ん坊はびっくりするほど、母親が好きで、こんな怠け者の母なのにひたすら後を追ってくれました。職場の理解と支援と、地域の

方々が声をかけてくれたり、励ましてくれたり、次男が生まれるまでの 5 年間に息子と二人、病院近くのアパートで過ごしたことは楽しい思い出です。次男が生まれて、中途半端な自分の仕事、あり方を考え直し、そのまま地域の病院に残って、週 4 日短時間の非常勤勤務になりました。子どもたちは大きくなり、中学生と高校生、親子で馬鹿な話をしたり、受験勉強をしたり、仕事の失敗を話したりできるようになりました。(夫(フルタイム外科医)とは「弁当作りは誰の仕事か?」をテーマによくけんか・・・ごめんなさい。9 割以上パパの手作りです!)セレブな生活とはほど遠くおもしろおかしく暮らしています。

食事療法実践が困難な 92 歳の糖尿病男性患者がいます。外来に来ると、1 ヶ月の出来事を夢中で話していくので、傾聴してはいたのですが、おつきあひも長くなったあつ時、「不思議だね。ここに来ると母親に話を聞いてもらっている気になるんだ」というのです。40 歳以上年下の私が?おかしくなってしまいました。医者というのは、そんな存在かもしれないと感じるようになりました。

地域医療、内科外来においては、患者に寄り添い価値観を理解し最良の医療を提供できるよう知恵を絞ることが大切だと思っています。女性であること、年を重ねることは、決してマイナスにはならないと考えながら、診療を続けています。いろいろな選択の場面で必ずしも最善の道を選ぶことはできなかったかもしれませんが、幸福観は人それぞれということがやっとわかってきました。私の場合、息子たちが四つ葉のクローバーは足下にあることを教えてくれたのだと思っています。

後輩医師・学生へ一言メッセージ

『謙虚な自信』

故中尾学長先生が卒業式にくださった言葉
私の座右の銘です。

「自治医大卒業生 女性医師支援 NEWS」では、読者の皆様からの
ご意見をお待ちいたしております。特集記事のテーマ、絵本やその
他のコーナーについても、ご希望などあれば、是非お寄せください。
連絡先: 自治医科大学 地域医療推進課 卒後指導係
E-mail : chisui@jichi.ac.jp

絵本の森

風薫る季節から、緑が日々深くなっていく時期になりました。地域によっては運動会の時期でもありますね、今回は、運動会をテーマにした作品も取り上げました。戸外で過ごすのに気持ちのいい季節、公園のベンチや、芝生の上に寝転がって絵本を読んでみてはいかがでしょうか。



むしたちのうんどうかい

文: 得田 之久
絵: 久住 卓也
出版社: 童心社
発行日: 2001 年 9 月
読んであげるなら 3 歳～
定価: 1,300 円(本体価格)

カブトムシ、テントウムシ、バッタ、
チョウ、ダンゴムシ……たくさんの
虫がはらつばにあつまって、うん
どうかいをはじめました。応援合戦
や、玉入れ、それぞれの虫の特
長を生かしたユーモアを感じる場
面に親子で会話が弾みます。



ぞうくんのさんぽ

作・絵: なかのひろたか
出版社: 福音館書店
(岩波少年文庫)
発行日: 1977 年 4 月
読んであげるなら 2 歳～
定価: 900 円(本体価格)

ぞうくんはさんぽに出かけまし
た。かばくんに会って、さんぽ
に誘うとかばくんはぞうくんの背
中に乗りました。わにくんに会
って、さんぽに誘う・・・と単
純にデザインされた動物たちの
ユーモラスなやりとりが、愉快
な散歩に子どもたちを連れてい
ってくれます。



ストレスケア

「ベビーリーフ」



しかし何より、部屋の中に緑があること、日々変化する様子が、こころを穏やかにしてくれます。

実はベビーリーフは発育過程のため、栄養価もとても高いことが特徴です。キットで購入すれば種や土はもちろん、栽培容器や、水遣り用のスプレーまでついてきますので、届いたその日から育てられ便利です。自然の豊かな中で生活しているけれど、畑を始める勇気はない、そんな方にもお勧めです。

【写真商品問合せ先】

店舗名称: 野菜栽培どっとこむ
運営会社: 農業活性化サービス株式会社
〒224-0006 横浜市都筑区荏田東 2 丁目 15-9-102
TEL 045-532-4313 FAX 045-532-4314
<http://yasai-saibai.com/>

育てる楽しさと手摘みの楽しさが味わえる

日差しがまぶしいこの季節、窓際でベビーリーフを育ててみてはいかがでしょうか。種から育てて 3 週間ほどで食べられるようになります。観葉植物と違って育てていく過程を楽しめるので、水遣りは子どものお仕事にしても、積極的にやってくれます。また、少しの量でも、食卓に彩が増すので、料理がそっけないと感じたときもとても便利です。

